

パネルディスカッションⅡ

アセスメントを活用した 就労支援の今後のあり方について

【コーディネーター】

武澤 友広

(障害者職業総合センター 上席研究員)

【パネリスト(話題提供順)】

前原 和明

(秋田大学 教育文化学部 教授)

青山 貴彦

(社会福祉法人桑友 理事長)

吉田 あおき

(新宿公共職業安定所 専門援助第二部門 統括職業指導官)

古野 素子

(障害者職業総合センター職業センター 主任障害者職業カウンセラー)

アセスメントを活用した就労支援の今後のあり方について

現在、障害者本人の支援ニーズや就労能力の現状等を把握して適切な支援につなげていくためのアセスメントの活用が課題となっています。このような中で、本パネルディスカッションにおいては、本人の希望、就労能力や適性等に合った選択を支援する新たなサービス（就労選択支援）が法改正により創設されることを踏まえて、就労支援のためのアセスメントの目的や視点を確認し、共有した上で、アセスメントを介した多機関連携支援をはじめとした就労支援の今後のあり方について意見交換を行います。

コーディネーター	武澤 友広
	障害者職業総合センター 上席研究員

パネリスト	前原 和明 氏
	秋田大学 教育文化学部 教授 (秋田県秋田市)

就労選択支援における就労アセスメントの位置づけを解説していただいた上で、就労支援における就労アセスメントを実施するための視点について、ご提示いただきます。

パネリスト	青山 貴彦 氏
	社会福祉法人桑友 理事長 (島根県松江市)

就労選択支援の理念を実現するために、感じられている現行のアセスメントの課題(実施体制も含む)、どのような変化が求められていると考えるか、変化に対応するためにどのようなことに取り組む必要があるかについて、話題提供いただきます。

パネリスト	吉田 あおき 氏
	新宿公共職業安定所 専門援助第二部門 統括職業指導官 (東京都新宿区)

就労選択支援の過程で実施されるアセスメントの結果を活用するハローワークの立場から、アセスメントやマッチングの過程でどのような変化が求められていると考えるか、変化に対応するためにどのようなことに取り組む必要があるかについて、話題提供いただきます。

パネリスト	古野 素子
	障害者職業総合センター職業センター 主任障害者職業カウンセラー (千葉県千葉市)

障害者職業カウンセラーとして「自己決定を支え、自己理解を深めるアセスメント」を実践するためにどのような取組・工夫を行っているかについて、話題提供いたします。